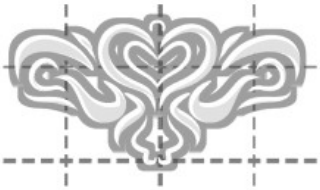
絶対服従化計画

～魔物と結託したオジサンが姉妹をモノにするお話～



事の発端は、魔物の身体構造を研究する為の実験中に起きた。

魔法学院の研究室にて―

カタカタ

我に協力するのであれば・・・

ゾゾゾ・・・

ゴポ

ニヤ

ゴポ

オマエの『欲望』を満たしてやろう

欲望だぁ・・・？

脳内に語りかけるな

ゾク

そうだ、オマエが内に秘める本能。それを想起してみせよ・・・

ワシの、欲望か・・・

キラ

キラ

うふん

それがまさか、あのような形になろうとは・・・

欲望…そうじゃな、
『同僚である意中の女の、
全てを手に入れたい』
パンッ
パンッ
ギュラっ♥
ぬぷっ♥
ぱちゅっ
プル
プル
ズンッ
パンッ

オマエの願望を受け取った。
実に素晴らしい生殖への欲求だ
パキ
ゴポ
パキッ

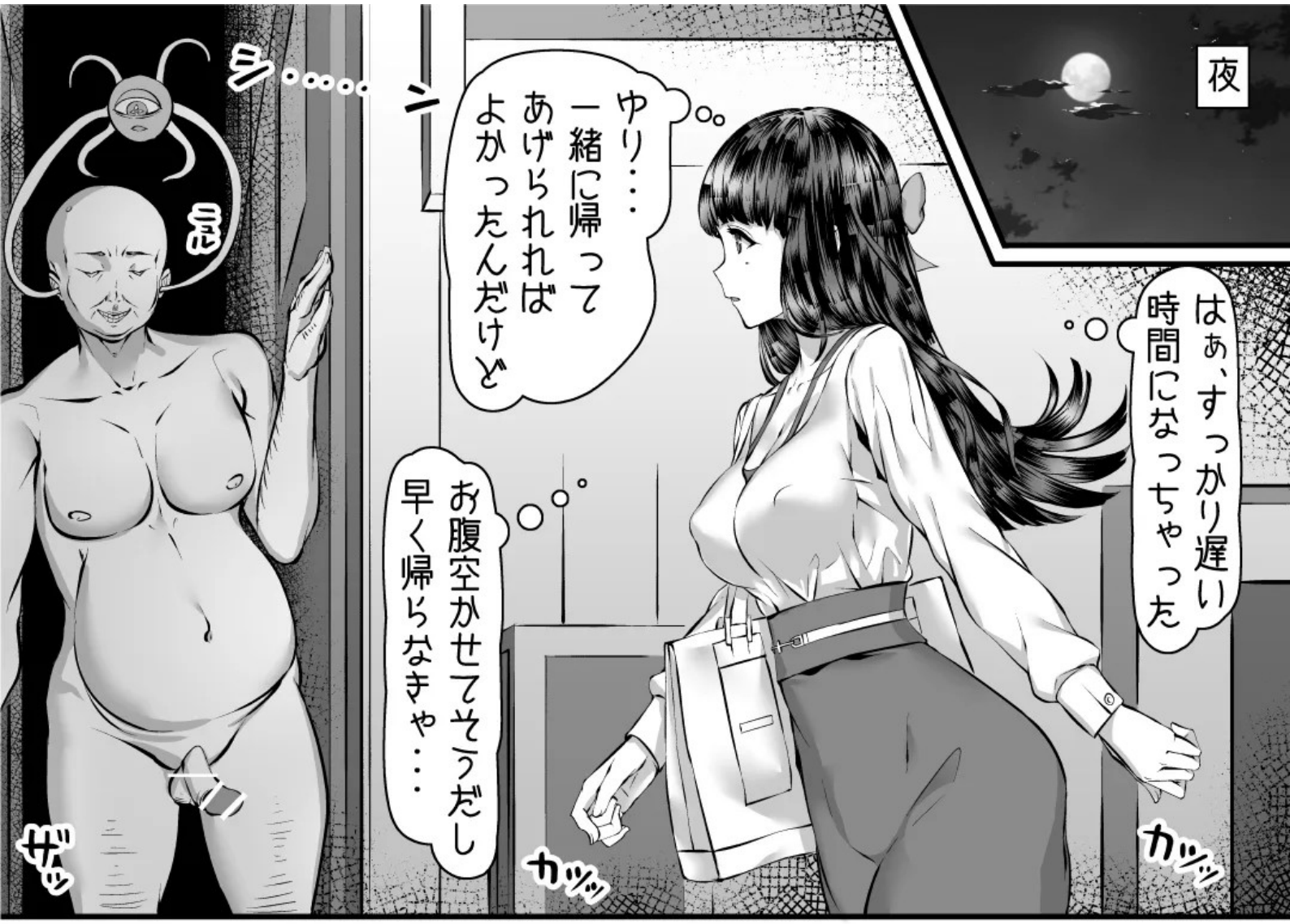
あ…ぐっ
ドクーン
絶えぬ欲求は
生物としての証である。
共にその生殖欲を
満たそうではないか…

バサッ
あ……あぁ
ニヲァ
ぬぎぬぎ

パリーン!!
ゴポッ

魔法学院教師
文月さゆり
魔法学院。
ここは世界に蔓延る
魔物達を駆逐する為に
設立された機関である。
すっ
えー、
そういう訳でして・・・
次、教科書
52ページを
・・・文月さん
読んでください
・・・文月さん？
じーっ

・・・放課後。
お・ね・え・ちゃ～ん♪
キーンコーンカーンコーン
あら？どうしたのゆり
魔法学院生徒
文月ゆり
学院では『先生』でしょ
えっ？
ふふっ♪
一緒に帰ろっ


夜
はぁ、すっかり遅い時間になっちゃった
カツッ
カツッ
ゆり…一緒に帰ってあげられればよかったんだけど
お腹空かせてそうだし早く帰らなきゃ…
ヌ……ン
ニヒ
ザッ

ガシッ
!?
ひゃっ?!
ドキッ
なっ、何…っ!?
むぐぅ…!!
グイ
ズッ
グヒヒッ
い、意識が…段々ぼんやりと…
ヴッ

う…ん、あれ…？
私、気を失って…
ハッ
!?
ヤ…やめ…
やれやれ
脱がせるのに
苦労したぜぃ
ドキッ
グフフッ
ヒッ…!?
きゃあぁあアァッ！
ブルブル
グイ

魔法学院教師
黒曜金二
そんな?!
黒曜先生!?
ど、どうしてっ
どうして
こんなことを?!
い、いけませんっ!
嫌…っ!
それ以上は…っ
剃毛無毛派か…
んふぁあああアッ!
お揃いじゃなっ!

ギヒヒ・・・ッ
文月先生は
ワシのモノ・・・ッ
お似合いの
性器同士じゃ
ヌチュ♡
グチュ
黒曜先生…っ
もしかして
魔物に操られて…？
んあぁっ
ぱんっ♡
パン
プル
ぱんっ♡
パン
プル

あっ…あんンッ！
魔法が封じられて
扱えないのも、きっと
あの魔物の仕業ね…っ
助けを求めても無駄じゃ
魔物共によって寂れた街、
その中にあるこの廃工場跡に
訪れる者など居ないからな
い、嫌ですっ！
もう許してぇ…っ
シ……ン
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ぱちゅんっ♡

パンッ
ぱんっ♥
文月先生、すまんな
ワシはもう
決めてしもうた
ぐちゅ
じゅぷっ
魔物と共謀し
己の欲望を満たすのだ
あ♥
あぁん…っ
な、なにを…
ですかっ
ドサッ
パンッ♥
貴女の全てをっ
パンッ
だめ、力が
入らない…っ
パン
ぱちゅっ
ぬぽっ
ワシのモノに
するのじゃ！
あ…っ
ヌポッ
うぅっ
ズッ
さゆり先生っ！
プル

その後、黒曜は数十分に渡り
無力化した女教師さゆりに
自身の『雄』を味わわせ続けた
ぷちゅっ
ずちゅっ
ぱんっ
はぁっ
はっ♡
あぁ…っ
深いいっ❤
本当に性器の
相性バッチリ…❤
魔法を封じられた『雌』には
魔物と結託した『雄』を
止める成す術など無かった
はぁ、はぁ…文月先生
ようやく素直に
なってきたようじゃのっ
ズッ
ブル
褒美じゃ！
ビュルルッ♡
あん…っ?!
射精ダメぇえっ
ビキッ
ビュルル
ぬおぉっ…！
吸い付かれるぞっ
みちっ
みっ
みちっ
みっ
子宮が精液で
満たされて…っ
あ…
卵管までパンパンにっ
ぐぐぐ♡
タプッ
タプッ

黒曜の精巣の片側は現在、我の精巣と入れ替わっている
ふえ？
ニュル
ズボ
ズシッ
ドサッ
黒曜は我の代わりに生殖行為を行う。我は黒曜の…『文月さゆりの全てを手に入れる』という『欲望』を叶える手助けをする
ビッグ
あ、頭が…オカシク…ッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
こ、黒曜先生…❤魔物側についちゃうくらい私のことを想って…？
ビクッ
ビクッ
ビクッ
お互いの利害が一致し『契約』を交わしたわけだよニンゲン
ビクッ
ビクッ
ドロォ

一方その頃・・・
おっかしーなぁ
ジーピーエスの位置情報によるとお姉ちゃんこの辺りに居るんだけど・・・
電話にも出ないし周辺は魔物に荒らされた廃墟だらけ
カツッ
カツッ
カツ
シ・・・・・ン
不安要素しかないよ・・・
はぁ
ドキドキ
えと・・・正確な位置はこの廃工場の中、かな

お姉ちゃん…居る？
スッ
あっ…
ドドドドド
あぁんっ❤もっと奥…っオチンチンでそこ擦ってぇ❤
ぱちゅんっ
ビチョ
ぬぷっ♡
グヒヒッ
ようやく素直になってきたではないか
えぇっ!?

あっ
い、嫌なのに
腰、振っちゃいます…っ❤
文月先生
それが本能による『欲望』ですぞ
あの魔物は『欲望』を
増大させているにすぎん
お姉ちゃんが
黒曜先生と…
かあぁ
これが…
せっくす？
ぱっ
ぱんっ
ぱんっ♡
ぱちゅっ♡
ぱんっ
ぱんっ♡

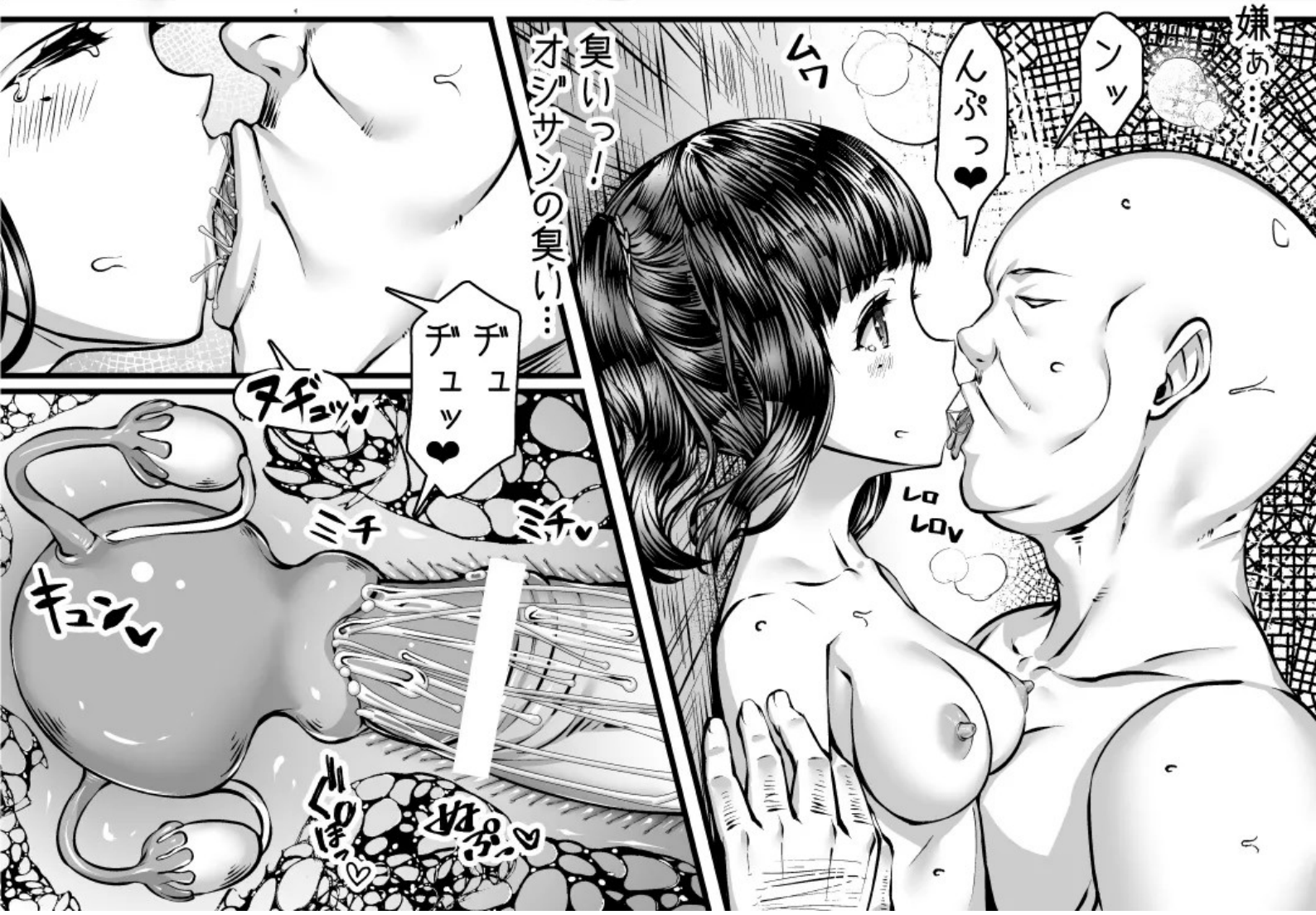
ドキッ
だ、誰っえっ…
ジャリッ
ビクッ
ほう…これはこれは
ニヤア…
文月先生、唯一の家族がお迎えに参りましたぞ
ゆ、ゆりっ!?どうしてここへ?!
ふぇっ?!
ま、魔物?!
しまった!頭の中に魔術を…っ
ドクンッ
ドクンッ…
悪魔
マルファス
低級な魔物の姿をとるとニンゲンはすぐ油断する
外見で判断する憐れな生き物ダ
ドクンッ

ん…私、気を失って…？
グヒヒッ
ブクッ
んっ
レロレロッ
あ、あれ…？
ハッ
私どうして裸に…
お？
ようやくお目覚めか妹君
ズッ
ひ…っ?!
イヤァアアッ！
ビクッ
グフフッ
文月先生の全てすなわち妹をもモノにするのだ
ビクビクッ

ドキドキ
グヒッ
さて、どうやって手懐けるかの
かぁぁぁ
初めてなのっ
い、嫌っ！身体が…動かないっ
本能で動いているのだ意思ではどうにもなるまい
ビクッ
お願い許してっ…私、好きな人がいるの…っ
ビクッ
ビクッ♡
スン…
ほう？
ムラ
ムラ
ビクッ♡

また気を失って…
う
ハッ
ビクッ
そ…そうです！
ゆりはっ、ゆりはどこ?!
嫌ぁあああアアッ！
!!
あぁぁぁ
ドキッ
ゆ、ゆりっ!?

い…やっ！
どうじゃっ！
初めてを奪われた感覚は！
身体が
言うこと聞かない…
だっ、めぇっ
本能に…っ
突き動かされてる
ズンッ
パンッ
ビクッ
ぬぷっ
ぱちゅっ
ぐんっ
ぷちっ


嫌ぁ…！
ンッ
んぷっ❤
ムワ
臭いっ！
オジサンの臭い…
ヂュ
ヂュッ❤
ヌギュッ❤
ミチ
ミチ
キュン
レロ
レロ
ぐぽっ❤
ぬぷっ❤

ぐおぉっ！
出る…っ
出る?!
ま、まさか
だっ、ダメェ…ッ
絶対、だめっ
グヒッ
体は正直なようじゃの
ムワ
ンっ、嘘っ…体が
勝手にオスを
求めちゃう…っ
ミッチリと
卵管まで
満たしてやる
ボソ
ん…っ
ギュッ
んっ❤

ビクッ
ビクッ
ヒクンッ
ズュッ
ビュウウウッ♥
精子
嫌っ！

タプ♥
みっ
みちっ
みちっ
赤ちゃん
嫌ぁっ！

出すぞっ！
ワシの子種を
子袋で受け取れぃ！
卵子逃げてっ
んふぁあああぁっ！

そして数時間後…
ニヤ
これが雌としての悦びというものだ
はぁ♡
はぁ♡
幸せ…♡
ぐぐっ♡
ビクッ
ビクッ
キュン!
はぁっ♡
はっ♡
お腹の中、オジサンの素でパンパンに…♡
お姉、ちゃ…っ♡
マルファスの力を借りた黒曜の手によって、淫欲に塗れてしまった姉妹の姿がそこにあった
ゆ…り…っ♡
手に入れた…っ
ビクッ
ビクッ
ビクッ♡
ドロォ♡
ドロォ♡
ビクッ♡
遂にワシは手に入れたぞっ！
ボタッ
ボタッ

今日から
お前達姉妹はワシのモノ
グフフッ…同棲じゃ
抵抗すれば
この恥ずかしい
データが流出…
わかってるよな
カシャッ
カシャ
あぁんっ❤
もっと奥…っ
オチンチンで
そこ擦ってぇ❤
ザッ
我の力で『欲』を
増大させているノダ
そんな小細工
必要ないイ
甘いんじゃよ
ま、もはや抗う気も
起きんだろうが

暫くは
従順なフリをして
隙を見つけないと…
(はぁっ)
(はぁっ)
(はぁ)
(はぁ)
理性が残ってる内に…

魔法学院・校内
シ……ン
おぉ…
柔らかいのぉ
やめて…
くださいっ
プニ
プニ
誰かに…
こんなところ
見られたらっ
そうは言いつつも…
あッ
ココは
素直だな
プク
トロ♥
ズッ
んっ…
くぅ…っ❤

も、もぅだめぇ…っ
我慢できません黒曜先生っ❤
トロン
黒曜は性的な快楽をさゆりに絶え間なく刻み込んでいった
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぬぎぬぎ
グヒ、いいか？ワシはお前の『主人』だ
ムラ
ムラ
その結果―

マルファスによって『欲』を増大させられた獣同士は、次第に理性をも失い……
ギュッ
ギュッ
ギュッ
教員同士で秘密のセックス❤ご主人様、好きぃ…❤
互いを求めあう関係へと発展していくのであった

どうしよう
このままじゃ
お姉ちゃんが…
スン…
ジョロロッ
そして魔の手は
妹・ゆりにまで及ぶ
ガチャ
ビクッ
ドキッ
ガン
ガン
ガン
ひゃっ?!
交尾の
時間じゃぞい
お、おトイレの
時間くらい
待ってくだされ…
ズッ
駄目ダ
早くシロ
そんな…っ
おしっこ…
でちゃうっ
んっ、ぎいっ
嫌ぁあっ!
プシャッ
ズプッ

んン…ッ!?
ニュプ
ニュル
ぷちゅっ
ぬちゃっ
んぐ…ギ…ッ
頭…オカシク…っ❤
反抗の意思は
本能を活性化させて
潰すノダ…！
オッパイ張ってきて
…気持ちいいっ❤
オチンチンも
気持ちイイよぉっ❤
も、も…ダメ…❤
受け入れちゃ…う
ずちゅっ
ぐぽっ
ビュルル
こうして、
姉に続き妹までが
惡の毒牙にかかって
しまうのであった

イクゥウウッ…❤
(はぁ)
(はぁ♡)
おじ様アアァッ❤
ビクッ
ギュポッ❤
アッ…
ご主人様ぁアアァッ❤
(はぁ♡)
イックゥウ…ッ❤
(はぁっ)
ビクッ
キュン
ギュポッ❤
長期に渡り繰り返された性交により、
姉妹は黒曜に対する嫌悪感を無くし
徐々に従属することに慣れていった
全て、マルファスの
思惑通りに事は進む…

一週間後・文月宅
おぃい、さゆり
飯はまだか
トントン
も、もうしばらく
お待ちくださいませ
ビクッ
仕方ないのぉ
ゆりにはワシが
飯を与えてやろう
ニヤリ
ご主人様っ
ほれ
ハムッ
ンジュルルッ
ヂュヂュッ❤
ちゅっ♡
おほぉ…っ
良い吸い付きじゃっ
ぬほぉっ♪
チュン
どうして…？
オジ様のオチンチン産の
おつゆ、美味しい…❤
ビクッ
ちゅっ♡
ヂュウッ❤

射精すぞっ！
ビュルル♡
ムグゥッ!?
ゴクッ ゴクン
ビッ
やっぱり飯は後だ
さゆり、お前にも
味わわせてやる
え…？
ぱらっ
きゃっ?!
もう一つの
口が…
ぱちゅんっ♡
ズプッ
ズプッ
ぐちゅ♡
ぐちゅ
ズプッ
ああんっ❤
餌付けなんて
ズルいですっ❤
やんっ❤
オジ様の
指の動き
エッチすぎっ❤
オチンチン
反ってカッコいい❤
腹を空かせているじゃろう

どうじゃさゆりっ！
毎日お前を想いながら
鍛え上げたチンポじゃっ
わっ
私の事をっ⁉
あ…ッ
パンッ
パンッ
ぱんっ
パンッ
ワシの女になると誓えば
お前の好きに使わせてやるっ
私の為に育った素敵な
オチンチン…ッ
ぱちゅっ
ぐぽっ
そんなの…
ぬぷっ
パン
パン
ぬおっ！
締め付けがっ
私のことを想って
毎日勃起してくれる
オチンチンなんて…っ❤
欲しいに、
決まってますっ❤
はぁ♡
はぁっ

女教師
文月さゆり…快楽堕ち
済
お、お姉ちゃ…っ?!
ハッ
舌入れて、唾液交換❤
わたひも、しゅきぃ❤
ヂュルルルッ…♥
ブヂュルルッ♥
相性抜群のっ…
オチンチン使用権欲しいのっ…
もう…限界っ❤
強引な手法を取る他なかったが、ワシはさゆりを愛しておるぞ
グヒッ
まぁ❤
アナタの女になることを、……誓います❤
息臭いけど好き…っ❤

さゆりを術中に堕とした
『魔物』二体は、
翌日からその矛先を
妹のゆりへと向ける
好きでもないのに、
セックスなんて…
ダメェ…ッ！
ほう？ 今更
それを言うか
そう刷り込まれて
いるならば…
姉に再教育させる
他あるまい
ぱんっ
ぱんっ
ぐちゅ
ズブッ

!?
クリトリスが触手に
包み込まれて……
段々オチンチンに…？
お、お姉ちゃん?!
ゆり…ごめんなさい
お姉ちゃん、苦しくて
我慢…できないのっ
みちっ
ギッ
ブチュッ
プシュッ
ビクッ

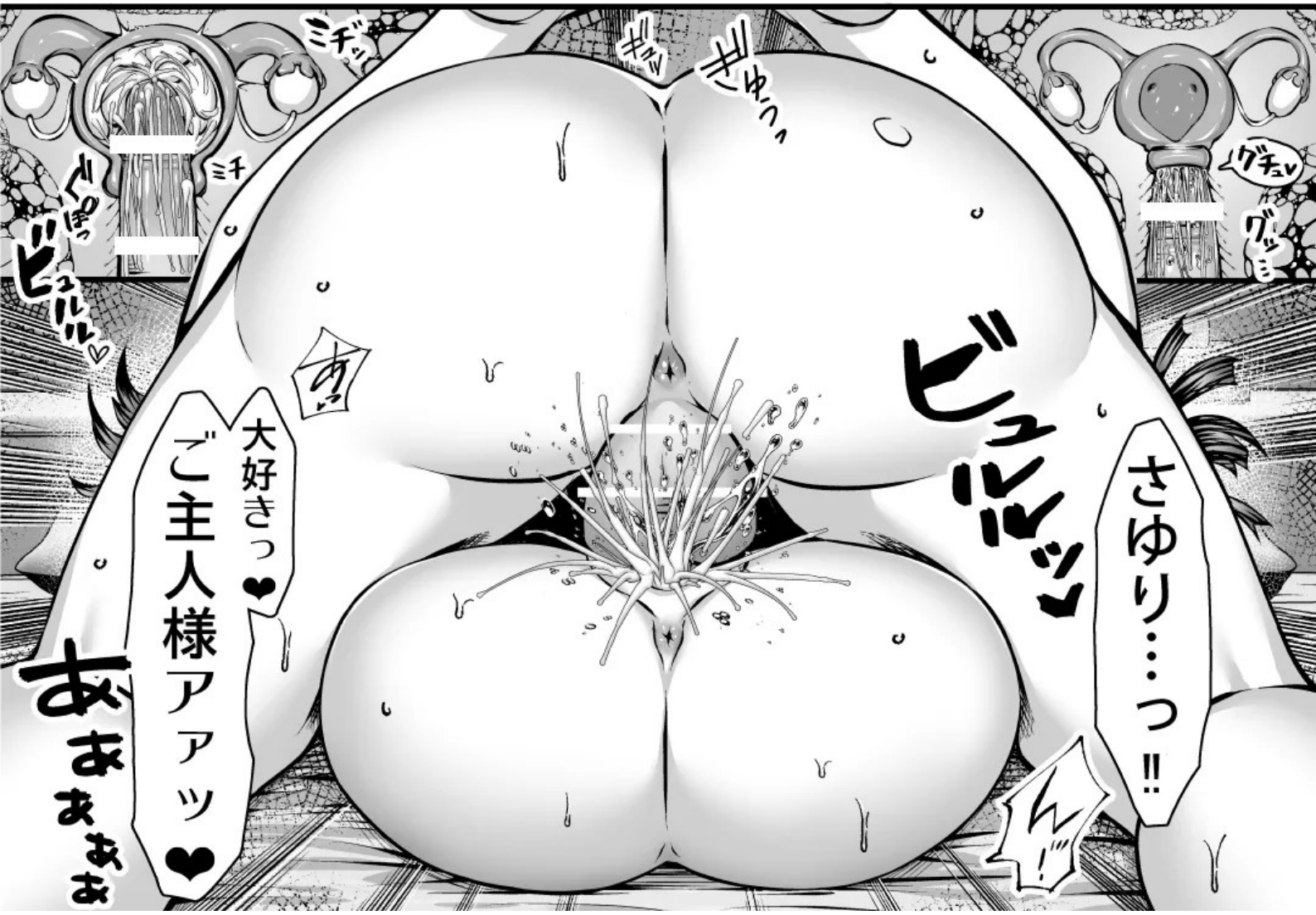
その後、黒曜達は…
ゆ、ゆり…っ
お姉ちゃん、
もう射精る…あぁっ❤
く、苦しい…の？
…いいよっ！
お姉ちゃん、
私の中に、射精してっ❤
ぱちゅっ
じゅぷっ♥
ズブブ
1ページ
精子が、
駆け上って…❤
んっふぁアアアッ❤
プル
あっ
ビクッ
ビュルル
お、お姉ちゃ…っ！
オチンチン震えて、
ふあぁ…っ❤
姉妹間の愛情を利用し
徐々にゆりに性交の
快楽を植え付けていく

ゆりは好きな男の子と私どちらとセックスしたい？
はぁっ
はぁ♡
パンッ
お姉ちゃんだよっ❤
パンッ
パンッ
ムワ
もみっ
では、お前が一番好きなペニスは…
パンッ
はぁっ
はぁっ
ぱんっ
…誰のモノだ？
パーンッ
ぱちゅっ

ひゃうぅうっ❤
好きな男か、姉かワシか…本能に任せて答えるんじゃ
ミヂ
ドクン
ミヂッ
ドクン
ビュウクッ❤
ドキドキ
はぁ
はぁ♡
でくっ♡
ヨロ
ワシが一番だと誓えばワシのモノは好きに使わせてやれるぞ
そんなの…決められないよ…っ
はっ♡
ヨロ
お、オジ様のオチンチンを好きに…？

女生徒
文月ゆり…快楽堕ち
私が膣に…
赤ちゃんのお部屋に
一番迎え入れたい
オチンチンはぁ…、
オジ様の
オチンチンだよ❤
ちゅっ♥
ちゅっ
ぢゅっ
んん…
ぎゅっっ♥
ぐいっ
ヒソヒソ
ギュブブッ
ギッ
ドクンッ…

こうして、
姉妹の『本能による欲』を
掌握した黒曜は…
グッヒヒッ！
ワシの子を孕めっ！
排卵させられて
一杯オジ様の素
詰め込まれたら❤
んふぁっ❤絶対、
オジ様との赤ちゃん
できちゃうぅっ❤
目的の最終段階として
マルファスの生殖に
協力する為、姉妹に
種付けを行うのであった
ビュルル
ガクガクガク
ビュルル♡


さゆり…っ!!
ビュルルッ
大好きっ❤
ご主人様アァッ❤
おおおおお

お腹の中タプタプ❤
オジ様の素と私の卵子
全部混ざっちゃった❤
魔術で排卵を強要され
黒曜の精子を子宮に
注がれた姉妹はついに…
ご主人様の精子達…
卵管で泳いでるの
わかります…っ❤
んふぁああアッ❤
段々オジ様とひとつにっ❤
ドチュ
魔力で、卵子の感覚が
伝わってきちゃう…っ
受精の刻を迎える
欲に塗れた禍々しい精子が、
私の核に潜り込んで…っ
ぬぷっ♡
ご主人様と一体化して…っ
ひぁあああアッン❤
完全に…結ばれましたっ❤
受精、
しゅごいっ
んふぁっ❤
プシャッ
極楽うっ
あぁんっ❤
プシャアッ♡
ビクンッ…
人間の精子の姿をした
惡魔の遺伝子は
姉妹の卵子と異種間の
結合を果たしてしまう
ビクンッ…

…一週間後
オチンチン
いくよ？
お姉ちゃん❤
ギュプッ
ええ来て❤
今日もお腹の子に
栄養あげ合いっこよ❤
ビクッ
ヤンッ❤
ビュルル
ぱちゅっ
ゆり、太いっ
んアアッ❤
姉妹はマルファスの手によって
母性本能から湧き出る
『欲』を増大させられていた
その結果、
姉妹は本能に従い
本気で腹の子の
『育成』を行い…
やがて出産の
刻が訪れる
ブブブ…
ご主人様ぁ…！
オマンコ開いて
出る、もう…、
産まれますっ！
フヒヒッ、ならばそこに
二人仲良く御開帳して
見せるんじゃっ
はいっ❤

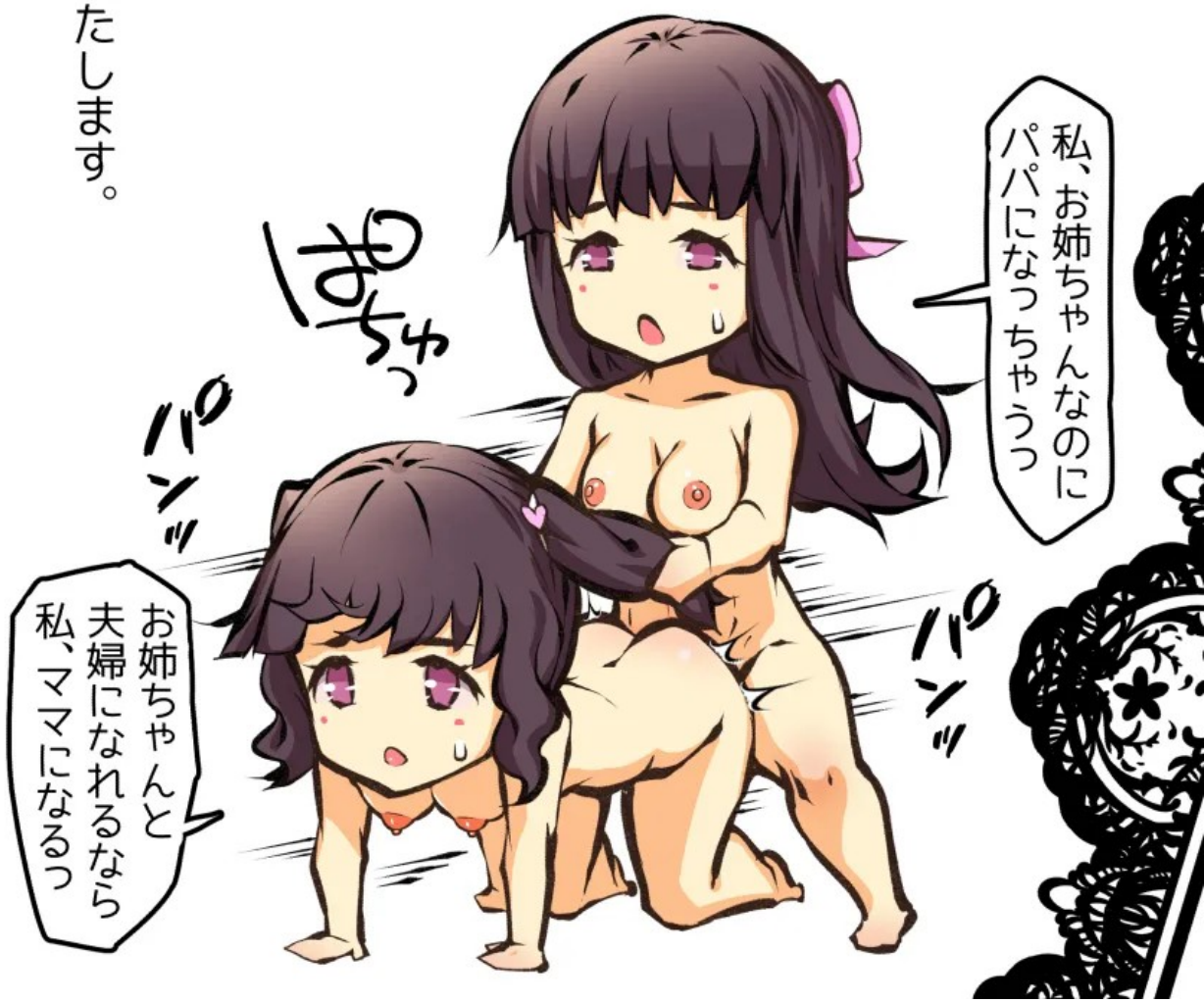
赤ちゃん産まれるぅっ❤
初出産は双方メスか！
あはぁんっ❤
姉妹を支配し、ワシの目的はこれで達成されたっ！
可愛いっ❤
やぁんっ❤次の子が出てっ❤
わ、私が…っ！ママにっ❤
母親の立派な乳房が受け継がれておるっ
やはり生殖に有用なのじゃろうな！
グヒヒッ！
ぐぽぽっ
ぐぽぽっ
ぷる
ぷる

と…ここで解放されるとでも思ったカ、黒曜
ギロリ
お前にはまだ我の駒として働いてもらウ
ニュル
ニュル
欲に飲まれる素直な人間共ヨ
なでなで
このメス共と共に動き我らの勢力を拡大せよ
ビュルル
グッヒヒィッ！
臭いっ
スン
スン
チュ
我の絶対服従化計画はここから始まるのダ！
ビクンッ…
―完―

あっ
逃げられると思ウナ？
とたとた
ぱくちゅ
プニ

◆あとがき

ここまでご覧いただき誠にありがとうございます。
今回はモノクロ漫画を描かせて頂きました。
モノクロ絵の作成に不慣れでしたので
試行錯誤しながらの作業となりました。
中でも髪の毛の黒ベタ塗りが想像以上に大変で・・・；
しかし黒髪が好物なので描かざるを得ませんでした。
(ピンク髪も好き)
見返してみると全裸のシチュエーションが
多くなってしまいましたが、
それは単純に全裸も作者の好物だからです。
衣装描くのが大変だからという訳では・・ないハズ。
今後も何かしら作成して参りますので、
お気に召していただけましたら何卒よろしくお願いいたします。



サークル・・・オトギ堂
絵・・・羽衣悠
Pixiv